

「茨城県女性のつばさ連絡会」30周年記念事業の開催報告



県では、昭和57年（1982年）から本県女性を海外に派遣し、男女共同参画推進の核となって積極的な活動を展開できる国際的視野と指導力を持った人材の育成に力を入れています。

「茨城県女性のつばさ連絡会」は、海外派遣研修に参加した団長および団員で構成される女性団体で、会員数は約390名です。

県北、中央、鹿行、県西、県南の5つの支部に分かれて、それぞれが研修会の開催など多様な事業に取り組み、会員相互の研鑽と親睦を図るとともに、各地域における男女共同参画の推進のために活動しています。また、会員の中から市長や市議会議員など政策決定の場や、地域のリーダーとなって活躍している多くの女性たちを輩出しています。

◆◆ 茨城県女性海外派遣事業30周年のつどい開催 ◆◆

去る2月15日（水）午後1時から、茨城県庁舎11階会議室において「茨城県女性のつばさ連絡会」主催による「茨城県女性海外派遣事業30周年のつどい」が開催されました。



山口副知事による記念講話

川澄清子会長の挨拶で開幕した記念式典に続いて、講話とパネルディスカッションが行われました。

山口やち系副知事から「いばらき女性の明日に向けて」というテーマで講話がありました。副知事は、女性青少年課在職中に女性行政を担当し、1994年に女性海外派遣事業に同行されています。女性政策にかかるこれまでの世の中の移り変わりや副知事としての東日本大震災時の体験などを通して、男女共同参画とは女性が男性に取って変わるということではなく、共に幸せを感じる社会を築いていくためには普通の感性を活かしていくことが大切であり、言うべき時には女性も声に出して欲しいと述べられました。

続いて、「女性が輝くために あなたは・・・」と題してパネルディスカッションが行われました。副会長の山田陽子さんがコーディネーター役を、つくばインターナショナルスクール教師の大久保シェリルさん、牛久市議会議員の須藤京子さん、幼稚園園長の時任志保子さん、女性青少年課の寺嶋常文副参事の4名がパネリストを担われました。

大久保シェリルさん：必要な時に人は変わる。

須藤京子さん：経済性から命を守る仕組みづくりへ女性が訴えていく。

時任志保子さん：必要とされる機会をありがたく受けて自分の能力を発揮していく。

寺嶋常文副参事：男女共同参画抜きでは今後の社会が成り立っていない事実を男性側に訴えていく。



パネルディスカッションの様子

それぞれの仕事や活動、体験などを通して抱いている熱い思いが印象的でした。最後に、山田陽子さんが「この機会を自分らしく生きる発見に役立てて欲しい。」と纏められ、盛大な拍手で幕が閉じました。

第45回男女共同参画チャレンジ支援セミナー 「女性のための創業支援セミナー」

平成24年1月14日(土)・21日(土)・28日(土)



去る1月14日、21日、28日に、創業に関心のある方や創業して間もない方を対象に、「女性のための創業支援セミナー」を開催しました。

中小企業診断士の宮田貞夫さんによる「成功事例・失敗事例から学ぶ成功のポイント」の講義や創業チャレンジ相談会、特定社会保険労務士の川田志津子さんによる「創業の動向と心構え」の講義、税理士の樋田雅美さんによる「創業に必要な会計知識」の講義、日本政策金融公庫の嶋根吉彦さんによる「創業計画の立て方と創業に係る融資制度」の講義、ルーピスト代表の三村杏子さんと Pitstop つくば北条代表の有野真由美さんによる創業体験発表という内容で行われました。役立つ情報や資料を手に入られ、困った場合の相談先を知り、さらに創業体験を聞くことで、創業のイメージが具体化できてワクワクされた方も多かったのではないのでしょうか。

最後に、「創業とは、人とのつながりを大事にすることで付加価値を高め、自分自身も磨かれるということに魅力があります。創業にチャレンジしてください。不安な時は私達を活用して！」という宮田さんの力強い言葉で締めくくられました。



参加者からの感想

☆創業に関してどんなことが必要なのかわかった。

★直接講師からお話を聞くことにより、書籍やパンフレットだけでは読み取れない情報を得られた。

第7回男女共同参画チャレンジ支援セミナー 「さわやかに自分の思いを伝える」

～レッツ・アサーション!～ 平成24年3月1日(木)



相手も自分も大切にするコミュニケーションスキルであるアサーション (assertion) について、茨城カウンセリングセンターに所属されシニア産業カウンセラーである塚本美和子さんにお話ししていただきました。

アサーションとは、「I'm OK、You're OK」という交流分析の考え方で、人間関係で苦慮する相手は他者ではなく自分自身であることに気付き、さわやかに自己主張を行うことでストレスを減らすという自己表現法です。セミナーでは、「自己表現のパターンを知る」、「葛藤や迷いが起こったときに自分の取りやすい傾向を知る」、「自分自身の考え方を知る」などのワークを通して、アサーティブに表現することの心地よさと難しさを学びました。まとめとして、さわやかな自己表現法であるアサーションは、「自己中心的な表現では他者に受け入れられないこと」、「言葉で表現しない非言語的アサーションがあること」、「1回で身につくものではないので意識的なトレーニングが必要であること」を教えてくださいました。

「アサーションはすぐに身につくスキルではないけれども、知っているといないとでは違う」という塚本さんの言葉が心に残りました。



参加者からの感想

★自分の考えに縛られ自分を苦しめているという点で、見直すきっかけになりました。

☆日常生活での家族、友人、職場の人間関係のコミュニケーションに活かしたい。

茨城県男女共同参画推進員ブロック別研修会 を開催しました！



事例発表（水戸会場）

去る2月20日（月）・21日（火）に、茨城県男女共同参画推進員及び市町村担当職員を対象としたブロック別研修会を、県内2箇所で開催しました。

◆2/20：水戸会場（茨城県庁 901 会議室）

◆2/21：土浦会場（県南生涯学習センター）

県の男女共同参画関係事業の説明の後、水戸会場では「NPO 法人 M・I・T・O 21」理事長の黒澤輝子さん他4名の会員の方々に、土浦会場では「レディースフォーラムとりで」会長の間宮真知子さんに、団体の成り立ちや活動内容について事例発表をしていただきました。

次に、6～8人ほどのグループに分かれ、「地域社会における男女共同参画促進に向けた課題解決」のテーマでワークショップを行いました。まちづくりや防災など地域社会における課題を1つ設定し、男女共同参画を進める上での問題点やその対応方法、自分たちができる具体的な取り組みなどについて話し合い、発表を行いました。各グループで活発な意見交換が行われ、参加者同士の情報交換・交流促進の場となりました。



ワークショップ（土浦会場）

☆「仕事と心の相談」の終了について☆

女性プラザ男女共同参画支援室では、毎月第1金曜日に産業カウンセラーによる「仕事と心の相談」を実施していましたが、3月2日の相談を持ちまして終了となりました。

今後につきましては、下記の相談窓口にご相談ください。

- ①（独）茨城産業保健推進センター（水戸市南町 3-4-10 住友生命水戸ビル 8 階）
事業名：働く人のこころの健康相談室
相談日時：毎週月曜日と金曜日 午後1時～午後5時（祝日・年末年始等除く）
電話番号：029-300-6030
場所：電話相談もしくは面談
料金：無料（概ね1時間以内）
- ②（財）茨城カウンセリングセンター（水戸市桜川 2-2-35 茨城県産業会館 14 階）
事業名：カウンセリング（心の相談）
相談日時：月～土曜日 午前10時～午後6時（祝祭日除く）
電話番号：029-225-8580
場所：センターのカウンセリングルーム（茨城県産業会館 14 階）
料金：1回につき3,150円（面接時間は約50分）



男女共同参画支援室のご利用



◇利用時間

月～金（祝日を除く）
9：00～17：00

◇利用施設

情報コーナー（パソコン）、
図書・ビデオ室、
交流室、会議室

◇書籍等の貸出

図書（新着図書30冊）・
ビデオ（約130本）の
貸出を行っています。
男女共同参画チャレンジ
サイト

(<http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>)で紹介しています。

◇チャレンジ相談・支援

働きたい！起業したい！

地域で活躍したい！

月～金（祝日を除く）

9：00～17：00

029（233）3982

◇特別相談

法律相談（弁護士）

第2金曜日

13：00～16：00

面接（予約制）

※仕事と心の相談事業は終了いたしました。

◇総合相談窓口

月～金（祝日を除く）

9：00～17：00

029（233）7837

◇交流場所の提供

地域活動や団体活動の
拠点としてのスペースの
貸出を行っています。

新着図書一覧

図書名	著者等名	出版社
イクメンで行こう！ 育児も仕事も充実させる生き方	渥美 由喜	日本経済新聞出版社
エイジングの社会学	岡村清子、長谷川倫子	日本評論社
男にとって男女共同参画社会とは	神奈川県立かながわ女性センター	
開発とジェンダー	田中由美子、大沢真理、伊藤るり	国際協力出版社
気持ちのキセキ	箱崎幸恵	明石書房
近代家族とジェンダー	井上俊、伊藤公雄編	世界思想社
現代社会の生活経営	御船美智子、上村協子	光生館
職場のワーク・ライフ・バランス	佐藤博樹、武石恵美子	日本経済新聞出版社
「ジェンダー論」の教え方ガイド	沼崎 一郎	フェミックス
女性を生きる	秦 晶子	角川書店
女性を活用する国、しない国	竹信 三恵子	岩波書店
セクシュアリティの心理学	小倉千加子	有斐閣選書
性差別と暴力	角田由紀子	有斐閣選書
ダイバーシティ 生きる力を学ぶ物語	山口 一男	東洋経済新報社
「男女共同参画」が問いかけるもの 現代日本社会とジェンダーポリティクス	伊藤 公雄	インパクト出版
男女共同参画基本計画	内閣府男女共同参画局	財務省印刷局
男女共同参画時代の女性農業者と家族	天野 寛子他	ドメス出版社
男女共同参画の今日的課題と女性センター 事業	神奈川県立かながわ女性センター	
男性学の新展開	田中 俊之	青弓社ライブラリー
DV防止とこれからの被害当事者支援	戒能民江	ミネルヴァ書店
なぜ男は暴力を選ぶのか —ドメスティック・バイオレンス理解の初歩—	沼崎 一郎	かもがわ出版
21世紀家族へ	落合恵美子	有斐閣選書
21世紀の女性政策と男女共同参画社会 基本法	大沢真理ほか	ぎょうせい
働く君に贈る25の言葉	佐々木常夫	WAVE出版
母が重くてたまらない 墓守娘の嘆き	信田 さよ子	春秋社
ヒューマニティーズ 女性学／男性学	千田 有紀	岩波書店
フェミニズム法学	朝倉むつ子、戒能民江、若尾典子	明石書房
夢 ゆめ 努	岡田 広	茨城新聞社
よくわかる自治体の男女共同参画政策	広岡守穂、広岡立美	学陽書房
ルポ母子家庭「母」の老後 「子」のこれから	関 千枝子	岩波書店

発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室
〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41
電話 029（233）3982
FAX 029（233）1330

URL<http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>



・水戸駅から日立方面
に向かって徒歩10分
・車でお越しの方は三
の丸庁舎（旧県庁舎）
の駐車場をご利用くだ
さい。